取扱説明書 保管用

蛍光灯ペンダント
（傾斜天井付け可能型）

ご使用になられる前に必ずお読みください

この取扱説明書には取り付け方やランプの交換方法、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。
この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。
お客様へ　：この器具の取り付け工事は必ず電気工事店(有資格者)にご依頼ください。
一般の方の工事は法律で禁じられています。
工事店様へ：工事が終りましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

■仕様

型番	適合ランプ	灯数	使用電圧/周波数	消費電力
PF-2358	E17電球形蛍光ランプ EFD13Wまで	6灯	AC100V50Hz/60Hz共用	75W
PF-2359	〃	9灯	〃	112W

この取扱説明書のマークについて

⚠警告　説明書中の「警告」は、重大な人身事故の原因となる危険を示します。
⚠注意　説明書中の「注意」は、物損及び傷害事故の原因となる危険を示します。
❗　このマークのついている説明文は、必ず守ってください。
⦸　このマークのついている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

取り付け・取り扱いの注意

⚠警告

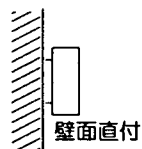
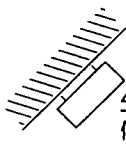
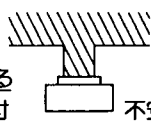
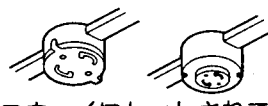
器具の取り付けは、取扱説明書にしたがい確実に行ってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下による「けが」や火災、感電事故の原因となります。

必ずVVFø1.6またはø2.0の単線のケーブルを使用してください。
★指定以外のケーブルを使用すると接触不良による過熱によって火災になる場合があります。

端子に差し込むケーブルの芯線は、真っ直ぐな線を正しく挿入してください。
★曲がった芯線やよれた芯線は、接触不良となり接触抵抗の増加を招いて火災の原因となる場合があります。

必ず指定されたランプ（適合ランプ）を使用してください。
★不適合なランプを使用すると異常過熱によって焼損事故の原因となります。

一般屋内用器具です。屋外や浴室など湿気の多い場所では使用できません。
★感電事故や漏電の原因となります。

次のような場所には取り付けないでください。
★いずれの場合も落下による器具、その他の破損やケガの原因となります。

○補強剤のない場所への取り付け（ボックスに取り付ける場合を除く）
○石膏ボードなど弱い建材面への取り付け
○樹脂製ボックスカバーへの取り付け（埋め込みボックスに取り付ける場合は、必ず金属製ボックスカバーに取り付けてください。）
○凹凸のある面には取り付けないでください。
○サウナへの使用**★器具の破損によるケガや漏電、感電事故の原因となります。**

器具を布などで覆わないでください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。

ドライバーなどの異物を差し込まないでください。
★感電事故の原因となります。

点灯中や消灯直後のランプ、器具には触らないでください。
★火傷の原因となります。

⚠注意

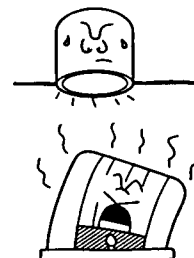
AC100V専用です。必ずAC100Vの電源で使用してください。
★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱し、火災の原因となることがあります。
高い電圧で使用すると、不点灯やチラつきなどの不良点灯状態になります。また、器具の故障の原因となります。

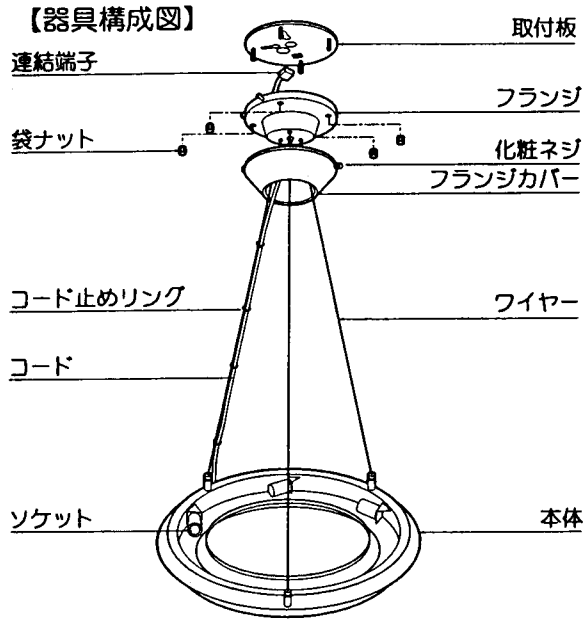
この器具は周囲温度5℃～35℃の中で使用してください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

調光器（ライトコントロール）との併用はできません。
★不良点灯（チラつきや立ち消えなど）や調光器、照明器具の故障の原因となります。

温度の高くなるもの（ガスレンジやエアコンの吹き出し口など）の近くに設置しないでください。
★器具カバーの変形や火災の原因となります。

殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
★変色や材料の変質によるカバーのヒビ割れなどの原因となります。

ヒビの入ったカバーや、一部が欠けたカバーは
使用しないでください。
★カバーの破損、落下の原因となります。

各部の名称

(説明図は、一部を省略抽象化した図です。)
(不足している部品があった場合には、お買い上げ店または山田照明サービス受付窓口までご連絡ください。)

取り付け場所の確認

●この器具は、ボルトネジ止めまたは木ネジ止めのどちらでも可能です。

・ボルトにて取り付ける場合は、別途ボルト施工が必要です。

・木ネジにて取り付ける場合は、付属の木ネジにて取り付けます。

木ネジ止めのご注意

⚠警告

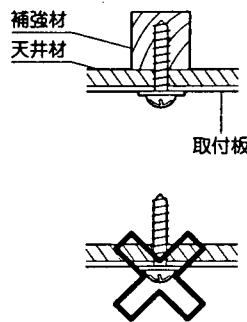
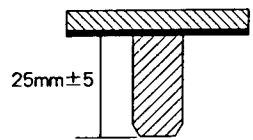
❗ 器具を木ネジで取り付ける場合、必ず補強材のある場所に取り付けてください。

★補強剤のない場所に取り付けると器具の落下事故の原因となります。

補強材
天井材
取付板

❗ 建築の構造によっては、付属の木ネジで取り付けられないことがまれにあります。そのような場合には、器具取り付け場所の構造を確認の上、適切な長さの木ネジにて取り付けてください。

ボルトの出寸法

25mm±5

取り付け方

⚠注意 ❗ 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

⚠警告 ❗ 器具の取り付けは、説明書に従い確実に行ってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下による「けが」や火災、感電事故の原因となることがあります。

1. 電源線の被覆を剥きます。

●電源線の被覆を端子背面のストリップゲージにあわせてむきます。

2. 取付板を取り付けます。

●木ネジ止めの場合

①電源線を電源穴より器具内に引き込みます。

②付属の木ネジ(4本)にて器具を天井に固定します。

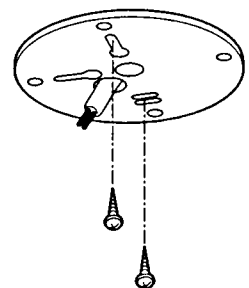
●ボルトネジ止めの場合

①電源線を電源穴より器具内に引き込みます。

②天井に施工されているボルトを器具本体のボルト穴に合わせ入れます。

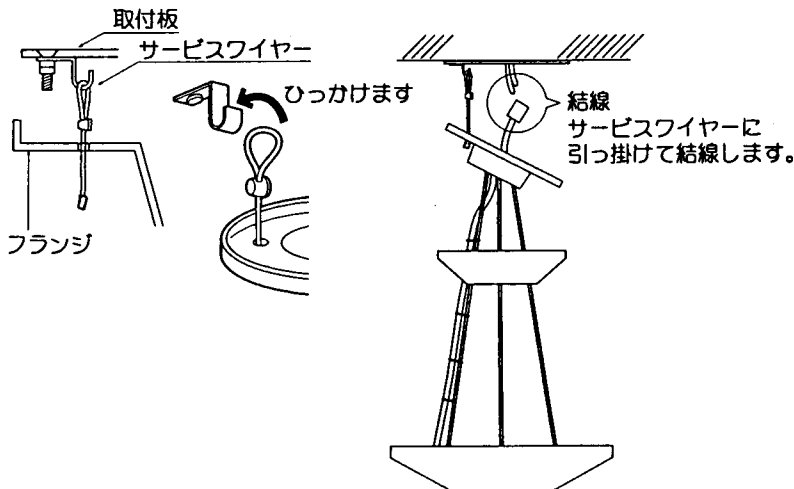
③ワッシャーを通し六角ナットで固定します。

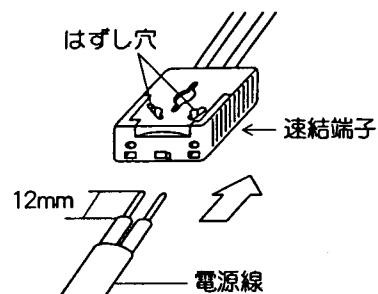
④付属の木ネジを小判穴にねじ込み、取付板を固定します。

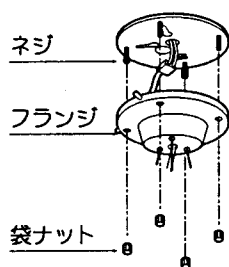
⚠注意 必ずワッシャーを挟んで固定してください。

木ネジ止めの場合

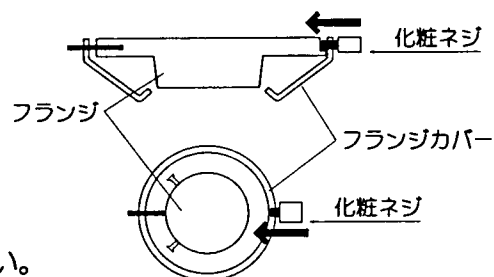
3. サービスワイヤーを取り付けます。

●取付板のフックにフランジからの
サービスワイヤーを引き掛けてください。

取付板
サービスワイヤー
ひっかけます
フランジ
結線
サービスワイヤーに
引っ掛けて結線します。

4. 電源線を接続します。

●電源線を速結端子に差し込みます。

5. フランジを取り付けます。

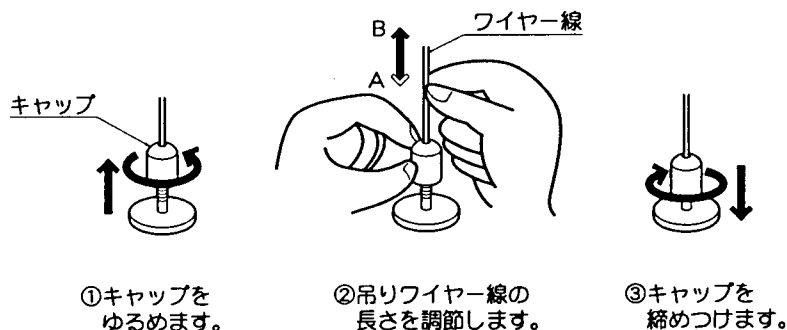
●取付板のネジとフランジの取付穴を合わせ袋ナット（4個）で取り付けます。
サービスワイヤーは引き出しておいてください。

6. フランジカバーを取り付けます。

●フランジにフランジカバーをはめ込み化粧ネジを締めつけてください。

7. 吊り下げ高さの調節

ワイヤー線を調節してお好みの高さに設定します。
（出荷時は短くセットされています。）
高さ調節は、最大高=3m～最小高=1.5mの範囲で行ってください。
●ワイヤー線の調節の仕方

①キャップをゆるめます。

②吊りワイヤー線の長さを調節します。

③キャップを締めつけます。

A短くする方法

本体を持ちながらキャップの中にワイヤー線をまっすぐ押し込みます。

B長くする方法

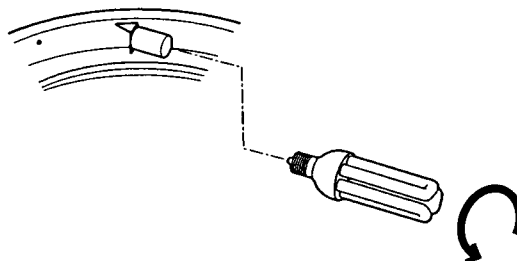
①本体を持ちながらキャップを左図矢印方向（下側）に押したまま、ワイヤー線をまっすぐ外へ引き出します。
②長さが決まったらキャップを離します。（ワイヤー線はそこで固定されます。）
※再度調節するときは同じ作業をくり返します。

8. 電源コードの調節

調節したワイヤー線の長さに合わせ電源コードの長さを調節します。
●たるんだ分の電源コードをフランジ内部に押し込みます。

9. ランプのセット

⚠注意 ランプは乱暴に扱わないでください。
★ランプが割れて「ケガ」をする恐れがあります。

●ランプをソケットにねじ込みます。

●お手入れについて　⚠注意　❗必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

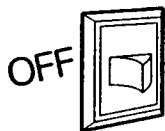
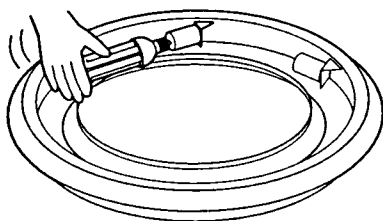
●こまめに清掃を：照明器具やランプが汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。
定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。

⚠注意

●ランプの交換やお手入れをするときには、必ずスイッチを切ってから取りかかってください。
★感電事故の原因となります。

●スイッチを切った直後のランプは熱くなっています。絶対に素手で触らないでください。冷えてから交換するか、または
ハンカチやタオル等を使って交換してください。　**★火傷の原因となります。**
●濡れた手で触らないでください。　**★感電事故の原因となります。**

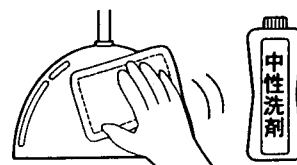
●ランプは乱暴に扱わないでください。　**★ランプが割れてけがをする恐れがあります。**
●適合ランプ以外のランプは使用しないでください。表紙の「■仕様」欄を確認し、正しいランプをご使用ください。
★不適合なランプを使用すると、不点灯や点灯不良（チラつきや立ち消えなど）の原因となります。また、インバータの異常発熱などによる事故、故障の原因となります。
●シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。
★器具に傷をつけたり、変色や変質の原因となります。

◆ランプの交換

1. スイッチを切ります。

2. 本体の上部から手を入れてランプを
交換します。

●スイッチ操作

壁スイッチにて「ON-OFF」操作を行います。

◆お手入れのしかた

1．スイッチを切ります。
2．柔らかい布に中性洗剤を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
3．汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
4．最後に乾いた布で、水分を完全に拭き取ります。

■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態になりましたら直ちに使用を中止し、**器具の型番**（器具本体のラベルでご確認ください）、**故障の状況**、**ご使用期間**をご確認の上、お買い上げいただきました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口までご相談ください。